

令和5年3月13日(月)

14:00～16:30 (予定)

ハイブリット開催

東京会場：定員20名

青山一丁目駅から
徒歩で3分

[日本交通公社ビル地下1階](開場13:30～)

オンライン[Zoom](開始13:45～)

参加無料 (参加申込要)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、
開催方法を変更する可能性があります。



第13回 チーム新・湯治セミナー

温泉地から切り拓くサステナブルな地域の未来

温泉地は、これまで幾度とない社会変化に適応しながら、今日まで多くの人々に癒しを提供してきました。これからの未来を担う世代がこれまでと同様に温泉の恵みを楽しみ続けられるように、温泉地は、ビジョンを持ち、能動的に行動を起こすことが求められています。本セミナーでは、各地での近年の取組を通じて、温泉地がリードし切り拓くサステナブルな地域の未来について、チーム員の皆さんと一緒に学び考えます。

1. 開会挨拶

2. セミナーの趣旨説明、講師紹介

令和5年度

3. 「チーム新・湯治」の活動予定、チーム員からの報告

ご自身の活動をチーム員にお知らせ(発表)したい方へ
今回のセミナーでは、自身の活動をお知らせ(発表)したい、参加者から反応を聞いてみたいという方に発表の時間を設けます。ご希望の方は、申込フォームでご申請ください。ただし、希望人数や内容によっては、ご希望に沿えない場合がございます。何卒ご容赦ください。

4. 発表① E-DMO が高める温泉地の持続可能性

E-DMO…エコツーリズム (Ecotourism) と
DMO (Destination Management/Marketing Organization) を組み合わせたもの

講師 瀧康洋氏 (一般社団法人下呂温泉観光協会 会長/下呂市エコツーリズム推進協議会 会長/株式会社水明館 代表取締役社長)

下呂温泉では、持続可能な地域を目指し様々な事業を実施。令和2年には、環境面・社会面・経済面の事業が日本SDGs協会より認定。令和3年度には、「温泉地におけるエコツアーの効果に関する調査」*を、現在は「下呂未来創造プロジェクト」等を実施。

*令和3年度新・湯治の効果に関する協同モデル調査

5. 発表② 湯守文化を守り、湯守とともに歩み続ける岳温泉の未来

講師 二瓶明子氏 (岳温泉観光協会 会長/お宿花かんざし 代表取締役)

温泉を温泉地に安定供給するために安達太良山へ登り源泉を守る「湯守」。岳温泉の温泉を支えている湯守文化の発信と継承が、湯守とともに歩み続ける岳温泉を未来に繋ぐ大切な架け橋になるとの想いのもと、各種プロジェクトを実施。

6. 発表③ 「黒川温泉2030年ビジョン」世界を癒す、日本里山の豊かさが循環する温泉地

講師 北山元氏 (黒川温泉観光旅館協同組合 事務局長)

黒川温泉では、旅館組合が設立60周年を迎えるにあたり、コロナ終息後における未来のありたい姿を表した”2030年ビジョン”を令和3年に策定。近年は「黒川温泉一帯地域コンポストプロジェクト」がサステナアワード2020”環境省環境経済課長賞”を受賞。

7. 講師を交えた参加者との意見交換

*講演タイトルは、変更となる可能性があります。

*各講師の発表後に、講師へ質問時間を設けています。

8. 閉会挨拶



下呂温泉郷
(岐阜県下呂市)



岳温泉
(福島県二本松市)



黒川温泉
(熊本県南小国町)



下呂温泉
(岐阜県下呂市)



岳温泉
(福島県二本松市)



黒川温泉
(熊本県南小国町)

講師プロフィール

たき やすひろ

瀧 康洋 氏

(一般社団法人下呂温泉観光協会 会長 / 下呂市エコツーリズム推進協議会 会長 / 株式会社水明館 代表取締役社長)

2014年より株式会社水明館代表取締役社長を務める。その間、社団法人下呂青年会議所理事長やPATA(太平洋アジア観光協会)理事、下呂温泉旅館協同組合理事、下呂市コンベンションビューロー会長、一般社団法人岐阜県観光連盟副会長なども務める。

にへい あきこ

二瓶 明子 氏

(岳温泉観光協会 会長 / お宿花かんざし 代表取締役)

岳温泉出身。東京・銀座のホテルに4年間勤務した後、地元へ帰り家業を継ぎ、旅館「花かんざし」の社長と女将の2役を務める。2019年度より岳温泉観光協会会長として地域活動に本格的に参加。岳温泉と湯守文化を未来につなげるためのクラウドファンディング「湯守文化継承プロジェクト」などを実施。

きたやまはじめ

北山 元 氏

(黒川温泉観光旅館協同組合 事務局長)

2019年より黒川温泉観光旅館協同組合事務局長に就任し、観光業と他産業との連携、地域内外の方々との関係づくり、黒川温泉のPR等を務める。2020年からはポストコロナを見据えた資源循環型経済(サーキュラーエコノミー)モデルを目指し、「黒川温泉一帯地域コンポストプロジェクト」、「次の百年を作るあか牛つぐも」プロジェクトに取り組み、次の世代につながる仕組みづくりを推進。

東京会場へのアクセス



最寄駅：東京メトロ銀座線、半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目駅」5番出口から徒歩3分

参加申込の方法

主な対象者

- ① 「チーム新・湯治」 チーム員 (構成員を含む)
- ② 「チーム新・湯治」 への参加を検討している団体の方
- ③ 報道

お申込み方法

下記申込フォームからお申込みください。

★申込〆切：3月7日(火) 12時

現地東京会場参加



定員

20名

(申込順)

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mjsf-sfpcn-a2a6c02e155a2638ef2b2bfa8e8e4935>

ご連絡事項

- ・ご自身で検温され、平熱またはそれ以下の場合のみ会場へお越しください。
- ・咳・咽頭痛等の症状がある場合は、体調を最優先していただきご参加をお控えください。
- ・必ずマスクをご着用のうえお越しいただき、セミナー中も必ずご着用ください。
- ・アルコール消毒液を準備しておりますので、必ずご使用ください。
- ・会場にて体調不良であることが見受けられた方にはスタッフからお声がけのうえ、誠に申し訳ございませんがご退席をお願いする場合がございます。
- ・感染症予防・対策のため席数が限られておりますので、当日参加は不可とさせていただきます。
- ・行政からの指示や関係者の感染などにより、現地開催については中止のご連絡をさせていただく場合がございます。その場合はオンライン配信の視聴用URLをご案内いたします。

オンライン参加



<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=M=mjsf-lbmhpg:4d8476db76d8f16fc2e83e628c371b40>

ご連絡事項

- ・オンライン会議システムZoomの利用を予定しています。
- ・ご参加の際は、ご自身のパソコン、スマートフォン、タブレットいずれかをご用意ください。
- ・Zoomの使用に掛かる通信料は、参加者のご負担となります (Zoomの使用自体は無料です)。
- ・参加用URLを事前にご連絡しますので、申込締切後のご参加は不可とさせていただきます。

お問い合わせ

(公財) 日本交通公社 チーム新・湯治係 (後藤・守屋・磯貝・安谷) 宛

[環境省 令和4年度「チーム新・湯治」運営等実施業務 請負事業者] 【TEL】03-5770-8440 【FAX】03-5770-8359

【E-mail】shintoji-seminar@jtb.or.jp 【住所】〒107-0062 東京都港区南青山二丁目7番29号 日本交通公社ビル